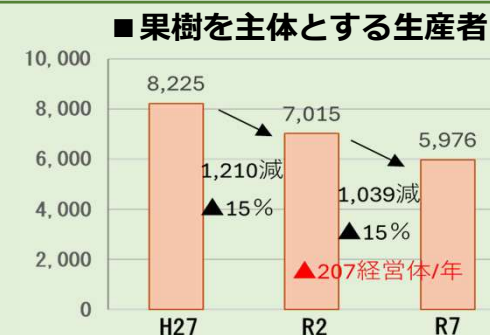


【円滑な樹園地継承が喫緊の課題】

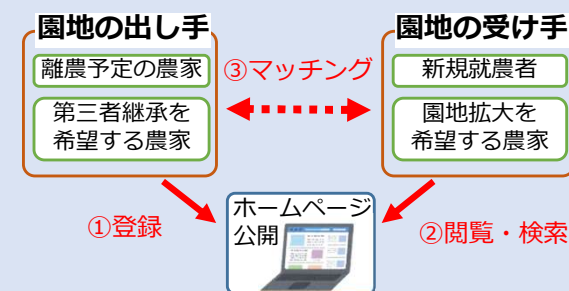
- ・ 果樹生産者は年間約200経営体のペースで減少。一方、果樹分野の自営就農者は年間約50人で、生産者の減少をカバーできていない。
- ⇒ 本県の強みである果樹生産を維持・発展させていくためには、新規就農者の更なる確保に加えて、新規就農者や規模拡大を希望する生産者への円滑な樹園地継承が喫緊の課題。



【樹園地継承の促進に向けた県の取組み】

① 樹園地継承データベースの整備

- ・ 新規就農者や規模拡大を希望する生産者と離農農家の樹園地をマッチングする「樹園地継承データベース」を整備。現在5市町で運用中で、更なる横展開を図っているところ。
- ・ 樹園地継承データベースの更なる充実に向け、衛星データを活用して樹種等を自動判別する技術も開発中。



② 地域ぐるみの取組みへの支援

- ・ 新規就農者に樹園地を円滑に継承するためには、先輩農家の栽培技術を新規就農者に継承することも必要。
- ・ このため、先輩農家が栽培技術を指導する「新規就農者受入協議会」や、栽培技術を実践的に身に付けられる「果樹研修ファーム」など、地域ぐるみで栽培技術を継承する取組みを支援。

